

21世紀に新しい風を

～自分を変えて地域を変えよう～

かがやく女性

題字
福井県知事 西川一誠

第15号

発行者
(財)ふくい女性財団

平成15年度 リーダー研修会

研修会テーマ

「男女共同参画社会は地域づくり推進から」

平成15年7月15日から8月6日にかけて、県内7プロックでネットワークリーダー研修会が開催され、延べ300名のネットワークリーダーが参加しました。

まず、県生活学習館長 政野澄子氏の「ネットワークの意義とリーダーのあり方」と題した講演が行われ、政野氏はネットワークのあり方について、キムスの言葉を引用し、「私の前を歩かないで下さい。私は追いつけません。私の後を歩かないで下さい。私は引っぱりあげることができません。横に並び手を取り合って歩みましょう。」と話され、参加者一同感銘を受けました。

講演の後、参加者がそれぞれのグループに分かれて討議を行い、「男女共同参画地

域づくりについて」をテーマに参加者から

・家庭の中から家族の理解と意識を変える

・自分が変わって周りを変える
男女共同参画は人権尊重である

・男女共同参画は行政に振り回されず、行政を動かして行う

・男女共同参画は、家庭と地域から同時進行

・女性がリーダーに選出されたら、女性が最も良き理解者になり、応援しよう

など、意識改革に向けた取り組みについて時間をオーバーして討議が展開されました。

女性自身の意識改革から世の中を変え、今までの慣行・慣習から脱皮し、21世紀に新しい風が吹くよう努力してこそ、

真の男女共同参画社会が実現することが確認されました。

平成15年度リーダー研修会開催一覧

開催日	開催場所	参加者数
7月15日(火)	美浜町中央公民館	37人
7月19日(土)	福井県生活学習館	30人
7月20日(日)	大飯町町民センター	31人
7月26日(土)	ハルエール(働く婦人の家)	30人
7月28日(月)	大野市有終会館	31人
7月29日(火)	今庄町住民センター	32人
8月 6日(火)	越前町中央公民館	42人



(財)ふくい女性財団 役員紹介

理事長 光成 正子 福井県婦人福祉協議会 会長
副理事長 辻 きぬ 福井県生活と婦人問題研究会 会長
理事 細川 豊子 福井県地域活動連絡協議会 会長
専務理事 山村 輝子 (財)ふくい女性財団事務局長
理事 旭 信昭 福井県民生活部長
政野 澄子 福井県生活学習館館長
天野 寿美恵 国際交流はぎの会 会長
天谷 保子 福井県交通安全母の会 会長
瓜生 ヒサ子 福井県食生活改善推進員連絡協議会 会長
河原 はつ子 福井県連合婦人会 会長
青木 武子 福井男女共同参画ネットワーク 会長
井上 恭子 今立町婦人団体連絡協議会 会長
木村 登貴子 福井県女性ネットワーク 会長
増山 修 (福井県出納局長)
清水 瑠美子 (社)福井県栄義士会 会長
相談役 湯浅 雪子 (財)ふくい女性財団理事長

評議員

倉友 秀子 福井県生活学習館 館長
下川 道雄 福井県生活学習館 館長
大正 光子 学校法人大正学園 理事長
長森 恵 福井労働局雇用均等室 室長
橋詰 武宏 福井新聞論説委員長
壬生 佐久子 福井県生活学習館 館長
宮越 洋二 福井県生活学習館 館長

常任企画運営委員

委員長 水上 幸衛 福井県漁協女性部連合協議会 会長
副委員長 辻 節子 小浜女性ネットワーク 会長
委員 泉 幸枝 酒生耀子 山崎まり子
杉本桂子 山中秋美 山下利恵子
湯谷千里 堂東昭子 山本美恵子
久保陽子 細川保子 池本敏子

健康で快適な生活を送るために

身近な女性の悩み ― 尿失禁 ―

講師 福井医科大学泌尿器科学

教授 横山 修氏

健康講座が7月31日県生活学習館において開催されました。

成人女性の3人に1人は尿失禁の経験があるが、専門医にかかれば症状は改善する、との事で専門医のお話と体験者のお話を聞く事が出来ました。



まず専門医のお話は

腹圧性尿失禁に見られる症状

- * 咳、くしゃみをした時に漏れる。
 - * 重いものを持ち上げた時に漏れる。
 - * 尿意が無いのに漏れる。
 - * 尿漏れが心配で運動を避けている。
 - * 笑った時などに漏れる。
- 切迫性尿失禁に見られる症状
* 夜間寝ている時に尿が漏れる事がある。

* トイレに間に合わない程の強い尿意を感じることがある。

* 冷たい水で手を洗うとトイレに行きたくなる。

があり、両方にチェックがついた場合は、腹圧性と切迫性が混在する「混合性尿失禁」に見られる症状です。

尿失禁は何となく恥ずかしくて、誰にも相談できず一人で悩んでいる人も多いようだが、骨盤底筋体操や手術で必ず直るものなので、専門医に早めに相談するのが良いでしょう。

体験者のお話は

岡山県からこの日のために来られた体験者は、明るくて前向きな、娘4人、孫11人をもつ71歳の女性でした。

この女性が尿失禁と戦った10年は、その姿からは想像も出来ないほど壮絶なものでした。平成4年、尿の出がかしくて婦人科にかかって以来10年、2年間の体操、3回の手術にもかかわらず、パット生活から抜け出す事ができませんでした。これ以上の手術は家族も賛成しませんでした。歩きたい一心、普通の生活がしたい一心で、2年前、1998年に導入されたTVT法で手術。その翌日から歩け、パット生活から開放されました。医療も日々進歩しているのですね。最後に彼女からのメッセージを紹介します。

「尿失禁があつても、恥ずかしがらず、がんばって治療を！4人に1人は94歳まで生きることができると今、最後まで幸せで快適な生活を！」

就任にあたって



(財)ふくい女性財団理事
福井県県民生活部長
旭 信昭

理事の就任に当たり、当財団の女性の自立と社会参加の促進へのこれまでの取組みに対し、深く敬意を表します。県では、昨年「男女共同参画推進条例」を制定し、本年は機構改革により「男女参画・県民活動課」を設置する等、男女共同参画行政に積極的に取り組んでいます。当財団と行政が協力し、県民および事業者の皆様と連携・協働して、男女共同参画社会を実現したいと考えています。加盟団体各位をはじめ、県民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

退任あいさつ



安藤スミ子

平成15年5月末日をもちまして、ふくい女性財団を退職いたしました。女性財団設立後早々に着任し、基金確立に奔走し、おかげさまで目標額も達成できました。県内企業・会員の皆様にご協力賜りましたこと、厚くお礼申し上げます。

在職中にはアクションプランの作成や、財団設立5周年記念事業も盛大に行うことができました。この7年間には、県職員時代には味わえなかった多くの方々と出会い、触れ合うことができました。このことは何事にも変えがたい大きな財産となっております。

最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、あいさつとさせていただきます。

就任にあたって



(財)ふくい女性財団
専務理事
山村 輝子

6月1日付けで専務理事に就任させていただきました。

女性の自立と、社会参加への促進を図り、男女共同参画社会を形成することを目的として、福井県全域の女性が手をつなぎ、その実現に向け日々研鑽されておられます会員の皆様に、心より敬意を表します。

「女性の元気は、福井の元気」微力ではありますが誠心誠意努めさせていただきますので、ご支援いただきますようよろしくお願い致します。

読んでほしい！そのために…

情報紙づくり研修会開催(6/27)

講師 福井新聞読者センター

四戸友也氏・永田康弘氏

各団体の広報担当者らが参加した研修会の内容を、ピックアップしてご紹介します。

広報紙づくり

☆編集会議＝方針決定の場。担当者全員がそろって、自由な意見・アイディアの交換が大切。

☆取材＝事前に相手について調べておき、具体的な質問ができるようにしておく。取材したその日のうちに書くのがコツ！

☆原稿執筆＝5W1H(いつ、どこで、誰が、なぜ、何を、どのように)に注意して具体的にわかりやすく書く。

☆読み返す＝できるだけ、他の人に読んでもらうのがよい。日時や固有名称の確認は、必須。

☆「みだし」で読者をひきつけよう。

☆写真＝アピールする力は大い。良い表情が出ている写真で、紙面を生き活きとさせよう。

文章をどう書く？

□文章の三原則

①一つの文が次の文を作る(良い文章は文同士が助け合って構成されている)

(財)ふくい女性財団年間事業

- ・アクションプランの進捗状況調査
- ・ファミリーサービスクラブ事業
- ・チャイルドルーム運営事業
- ・機関紙「かがやく女性」発行业務
(9月、3月発行)
- ・情報紙づくり研修会開催 (6月27日)
- ・男女共同参画情報紙「To you」発行业務
(7月、10月、12月、3月発行)
- ・ネットワークリーダー研修会開催 (7～8月)
- ・男女共同参画の新しい風事業
- ・男女共同参画普及コンテスト実施
(9月28日女性のつとめ)
- ・男女共同参画セミナー開催
(嶺北・嶺南:11月開催予定)
- ・健康講座開催 (嶺北:7月31日)
(嶺南:11月開催予定)
- ・文化事業
(パッチワーク、押し花、健康料理、3B体操講座)
- ・女性のつとめ事業 (9月27・28日)
- ・ふくい女性塾 (11月開催予定)

- ② 短く書くことが鉄則(二つの文に一つの事柄)
- ③ 形容詞や借り物表現を減らそう
- 主題を明確にする
- 実際に書いてみる
- ① 事前準備(テーマの決定、材料集め、情報の整理と分析など)
- ② あらすじを考える(主題を明確にする)
- ③ 文章構成(一般的なのは、序論・本論・結論の三部構成)

良い記事、良い広報紙を作るには、「日ごろから、ニュースセンスを磨きましょう」との言葉が心に残りました。技術的なことだけでなく、何事においても日ごろの精進は必要ですね。



おめでとうございます！

福井労働局長奨励賞受賞

女性管理職育成・登用推進企業

人財に関するあらゆるお悩みは私たちにご相談下さい。
★即戦力になるスペシャリストを自信をもって派遣します。

アイビーエージェント株式会社

福井市御幸2丁目17-25 (TEL 0776-29-0888)

功労者知事 表彰受賞

男女共同参画社会づくり

平成15年度

個人 笠松 正子(福井市)

田中 幸代(上中町)

団体 小浜女性ネットワーク

(代表 辻 節子)

しみず女性ネットワーク

(代表 黒田登美枝)

(敬称略)

いま活躍しています



福井県漁協女性部連合協議会

会長 水上幸衛

魚食の推進、環境保全などを唱えながら、漁村地域の発展を目的に昭和32年に発足した漁協女性部は、次のような活動に積極的に取り組んでいます。

1. 食の安全と健康を考えながら、「越前・若狭旬のさかな」をはじめ、前浜で水揚げされる魚の消費拡大に努めています。

2. 行政をはじめ、漁連会長と語る会や漁村青年グループ、漁業士会の総会・大会に参画し、女性の声の反映促進に努めています。

3. 平成12年度から取り組んだ魚料理集が完成し、この料理集を活用して料理教室を開催しながら、他組織との交流の輪を広げています。

4. 4R作戦に積極的に取り組んでいます。

5. 全国での実践活動発表、全国料理コンクールに参加し、毎年好成績を挙げています。



芦原女性ネットワーク

会長 卯目ひろみ

芦原女性ネットワークは8団体で構成されているが、現在は6団体での活動が続いています。情報交換の場・講演会と総会・財団からの参加依頼への協力・町民大学への参加・バザーボランティアなどがこれまでの主な活動です。昨年秋季に初の「女性のつどい」を計画しましたが、会員減少などさまざまな事情で実現できず、とても残念でした。金津町との合併を事前に控え、両町のネットワークもその協議が始まり、新しい方向へと動き出しています。

◆◆◆新規加入団体紹介◆◆◆

(社)福井県建築士会青年部女性委員会

委員長 脇本淳子

私共(社)福井県建築士会青年部女性委員会は、昭和60年に発足、技術を持った働く女性の団体として生まれました。

建築士というとかなり硬いイメージですが、女性家庭においては男性よりもはるかに現状の認識度は上廻っており、住宅設計等においてはスペシャリストです。又、最近ではデザイン・構造・まちづくりに至るまで女性建築士のニーズが増えている状況です。近年、社会情勢はきわめて女性建築

芸術鑑賞コーナー

”日展を倍楽しむ会” ご案内

作品についての説明や鑑賞法を学芸員や出版作家から学び、日展を2倍3倍楽しみましょう!!

日 時 平成15年8月27日(水)

9月2日(火)

9月11日(木)

13時~自由解散

集合場所 福井県立美術館ロビー

参加費 800円(鑑賞チケット代)

その他 チャイルドルームでお子様をお預かりします。

(平日210円)

情報コーナー

生活学習館から

*ゆーあいかレτζジ

男女が共に学ぶコース

・男女共同参画総合セミナー

・9月28日(日)生活学習館

・知って得する暮らしのセミナー

・11月9日(日)若狭図書館センター

・私の生き方セミナー

・1月25日(日)生活学習館

男性コース

・お父さんと子どものチャレンジ講座

・9月27日(土)生活学習館

・10月11日(土)小浜市働く婦人の家

・女性のエンパワーメントコース

・女性の社会参画基礎講座

・11月9日(日)11月11日(日)全3日(会場・若狭図書館学習センター)

・女性のスキルアップ講座(各全3日間)

・(会場・生活学習館)

話し方コース

10月26日(日)11月30日(日)

表現力コース

1月17日(土)2月7日(土)

パソコンコース

1月21日(水)2月7日(水)

編集後記

梅雨明けの待ち遠しかった夏にもせみの声が聞こえます。

今回の「かがやく女性」第15回の発行は県内7ブロックに分けての女性リーダー研修会を主に熱心な討論がされ、男女協力した社会の実現の方策をさぐることをメインに編集させて頂きました。

発行者 (財)ふくい女性財団

〒918-1813 福井市下六条町14-1

福井県生活学習館(ユニーアイふくい)2F

TEL(0776)4114254

FAX(0776)4114260